

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社
コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,177	4.8	2,279	167.2	2,362	138.1	1,880	129.0
2023年3月期第2四半期	17,337	36.6	853	9.1	992	19.4	821	5.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,239百万円(48.9%) 2023年3月期第2四半期 2,176百万円(139.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	70.09	69.95
2023年3月期第2四半期	30.63	30.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	43,253	34,131	78.8	1,269.46
2023年3月期	40,212	31,384	77.9	1,167.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 34,083百万円 2023年3月期 31,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	19.00	31.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「2024年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,010	4.9	4,580	52.3	4,740	47.7	3,600	31.5	134.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「2024年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	28,392,000株	2023年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,543,289株	2023年3月期	1,584,469株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	26,821,767株	2023年3月期2Q	26,807,127株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年11月21日（火）に機関投資家及び証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、個人消費やインバウンド需要の回復など経済活動の正常化が進み、緩やかな回復の動きが見られました。一方、為替が円安基調で推移し、エネルギー価格の高止まりや物価上昇に歯止めがかからず、経営を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続きました。海外経済におきましては、米国では個人消費の回復や良好な雇用環境を背景に景気は堅調に推移しておりますが、金融引き締め政策による経済の減速懸念の可能性は依然としてあります。欧州では長期化するウクライナ情勢やインフレの高止まりにより景気が低調に推移し、経済は低成長が続きました。中国ではゼロコロナ政策解除により経済活動が再開したものの不動産市場の悪化により景気回復の動きが鈍化し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする食品業界は、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続き、実質賃金の減少による消費者の節約志向の高まり等から経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。一方、国内外で人件費高騰に対応した省人・自動化の設備投資需要は堅調に推移しました。また、スーパー・コンビニ業界では、他社との差別化を図る商品開発や一層の省人化投資案件が引き続き堅調に推移し、個人消費の持ち直しの動きや外国人観光客の増加により設備投資案件も回復してきました。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。その中で、5ヶ年（2023年度～2027年度）の新中期経営計画を策定し、①成長基盤の強化、②利益基盤の強化、③経営基盤の強化に取り組み、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻を機に顕在化した社会課題を解決し、更なる企業成長のための足場固めを行う取り組みをスタートしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,177百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は2,279百万円（前年同四半期比167.2%増）、経常利益は2,362百万円（前年同四半期比138.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,880百万円（前年同四半期比129.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他、仕入商品の売上が増加しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は5,784百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は2,118百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比10.0%増加となりました。

主な要因は、コロナ後に食品生産の自動化へのニーズが加速していることなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが133円97銭から140円99銭と5.2%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は1,950百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は165百万円（前年同四半期比467.0%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、製パンライン等、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比0.9%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが138円73銭から153円38銭と10.6%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,076百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は大型展示会への出展など、広告宣伝費が増加したことにより138百万円（前年同四半期比36.5%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が減少しました。

主な要因は、中国での販売が伸び悩んだことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,089百万円（前年同四半期比35.1%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は展示会への出展など販売費及び一般管理費が増加したことにより282百万円（前年同四半期比45.7%減）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比6.5%増加となりました。

主な要因は、パイ製品の売上が増加したことや、昨年度に行った販売価格の見直しなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが133円97銭から140円99銭と5.2%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は7,043百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は774百万円（前年同四半期はセグメント損失213百万円）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は232百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

主な要因は、夏季猛暑のなかで、パン需要が減少したことなどがあげられます。

セグメント利益（営業利益）は原材料や光熱費の高騰などにより11百万円（前年同四半期比23.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,235百万円増加し、24,899百万円となりました。これは、現金及び預金が442百万円増加、受取手形及び売掛金が798百万円増加、商品及び製品が393百万円増加、仕掛品が362百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて804百万円増加し、18,353百万円となりました。これは、前連結会計年度末と比較し、円換算に使用するUSドルの期末日レートが133円53銭から149円58銭、ユーロの期末日レートが145円72銭から158円00銭と大きく円安に推移したため、有形固定資産が487百万円増加したことや、投資有価証券の時価評価額の増加など、投資その他の資産が306百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,040百万円増加し、43,253百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて335百万円増加し、7,284百万円となりました。これは、前受金が404百万円増加、未払法人税等が49百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて41百万円減少し、1,837百万円となりました。これは、長期借入金72百万円減少、繰延税金負債が30百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて294百万円増加し、9,121百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,746百万円増加し、34,131百万円となりました。これは、利益剰余金が1,370百万円増加、為替換算調整勘定が1,099百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の経済動向を勘案し、2023年5月22日に公表しました2024年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2023年11月10日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,440,477	11,882,989
受取手形及び売掛金	3,234,012	4,032,250
商品及び製品	5,339,139	5,732,752
仕掛品	1,632,710	1,995,115
原材料及び貯蔵品	401,263	497,728
その他	637,868	792,781
貸倒引当金	△21,490	△33,727
流動資産合計	22,663,980	24,899,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,073,737	16,744,380
減価償却累計額	△8,720,808	△9,231,107
建物及び構築物（純額）	7,352,928	7,513,273
機械装置及び運搬具	9,366,488	10,323,533
減価償却累計額	△7,855,260	△8,838,138
機械装置及び運搬具（純額）	1,511,228	1,485,394
工具、器具及び備品	2,031,752	2,098,686
減価償却累計額	△1,874,688	△1,913,608
工具、器具及び備品（純額）	157,064	185,077
土地	3,976,623	4,074,718
リース資産	8,741	11,627
減価償却累計額	△2,331	△3,598
リース資産（純額）	6,410	8,029
建設仮勘定	482,361	707,581
有形固定資産合計	13,486,616	13,974,074
無形固定資産	1,176,670	1,186,981
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241,474	1,577,354
退職給付に係る資産	1,350,370	1,382,839
その他	297,672	237,981
貸倒引当金	△4,109	△5,968
投資その他の資産合計	2,885,407	3,192,207
固定資産合計	17,548,694	18,353,264
資産合計	40,212,675	43,253,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,195,475	1,231,568
短期借入金	794,722	824,722
リース債務	1,999	2,677
未払費用	610,501	609,903
未払法人税等	381,540	332,493
前受金	2,295,474	2,699,505
賞与引当金	762,834	788,677
役員賞与引当金	16,800	14,650
未払金	683,952	701,880
その他	205,561	78,005
流動負債合計	6,948,863	7,284,085
固定負債		
長期借入金	1,138,204	1,065,842
リース債務	5,051	6,201
繰延税金負債	341,304	371,405
再評価に係る繰延税金負債	347,009	347,009
資産除去債務	36,294	36,321
その他	11,158	11,041
固定負債合計	1,879,023	1,837,824
負債合計	8,827,886	9,121,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,078,397	7,105,902
利益剰余金	17,780,924	19,151,647
自己株式	△770,280	△750,617
株主資本合計	31,440,791	32,858,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	544,701	793,907
土地再評価差額金	△1,692,816	△1,692,816
為替換算調整勘定	943,612	2,043,177
退職給付に係る調整累計額	69,528	80,381
その他の包括利益累計額合計	△134,974	1,224,650
新株予約権	78,971	47,911
純資産合計	31,384,788	34,131,245
負債純資産合計	40,212,675	43,253,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	17,337,828	18,177,320
売上原価	10,608,309	10,051,644
売上総利益	6,729,518	8,125,676
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	196,027	172,447
荷造運搬費	1,105,864	793,503
貸倒引当金繰入額	△6,350	10,544
販売手数料	412,637	449,732
給料及び手当	1,462,401	1,534,649
賞与引当金繰入額	427,844	456,441
役員賞与引当金繰入額	8,400	14,650
退職給付費用	74,956	77,099
旅費及び交通費	223,079	251,020
減価償却費	265,603	271,365
研究開発費	360,118	351,669
その他	1,345,788	1,462,919
販売費及び一般管理費合計	5,876,370	5,846,042
営業利益	853,147	2,279,633
営業外収益		
受取利息	2,650	5,744
受取配当金	12,248	15,693
物品売却益	10,180	8,459
為替差益	81,956	20,634
保険解約返戻金	—	2,278
電力販売収益	12,816	12,420
その他	36,897	32,891
営業外収益合計	156,750	98,122
営業外費用		
支払利息	6,391	5,551
電力販売費用	4,365	4,071
その他	6,833	5,661
営業外費用合計	17,589	15,285
経常利益	992,308	2,362,470
税金等調整前四半期純利益	992,308	2,362,470
法人税、住民税及び事業税	258,465	522,772
法人税等調整額	△87,273	△40,368
法人税等合計	171,192	482,404
四半期純利益	821,115	1,880,066
親会社株主に帰属する四半期純利益	821,115	1,880,066

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	821,115	1,880,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,174	249,206
為替換算調整勘定	1,231,186	1,099,565
退職給付に係る調整額	28,759	10,852
その他の包括利益合計	1,355,120	1,359,624
四半期包括利益	2,176,236	3,239,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,176,236	3,239,691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	992,308	2,362,470
減価償却費	577,272	601,422
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,775	10,717
賞与引当金の増減額 (△は減少)	136,469	22,127
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,900	△2,150
受取利息及び受取配当金	△14,898	△21,437
保険解約返戻金	—	△2,278
支払利息	6,391	5,551
固定資産売却損益 (△は益)	△195	△2,646
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18,091	△16,592
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,384,178	△663,131
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△278,576	△533,599
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	16,993	△59,945
未払費用の増減額 (△は減少)	17,914	6,631
仕入債務の増減額 (△は減少)	300,789	△42,862
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△23,312	28,952
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74,951	△122,746
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△25,336	141,210
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△310	△116
その他	17,017	22,488
小計	244,428	1,734,065
利息及び配当金の受取額	14,898	21,437
利息の支払額	△6,546	△5,551
法人税等の支払額	△298,372	△627,821
法人税等の還付額	194,056	3,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,465	1,125,194

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△371,671	△319,332
有形固定資産の売却による収入	195	2,646
無形固定資産の取得による支出	△105,937	△114,316
投資有価証券の取得による支出	△3,957	△4,091
その他	8,416	6,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472,954	△428,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	120,000	20,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△189,155	△162,361
リース債務の返済による支出	△462	△1,347
自己株式の取得による支出	△404	△555
配当金の支払額	△214,805	△508,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,828	△552,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	237,560	298,809
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△371,756	442,511
現金及び現金同等物の期首残高	10,000,186	11,440,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,628,429	11,882,989

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響については、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、経済活動は正常化に向かい感染症の影響は徐々に収束していくことが想定されますが、世界的な収束時期や影響範囲に関しては依然として不透明な状況にあります。

当社グループでは、感染症の影響は今後も一定期間続くものの徐々に改善していくとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、この仮定は不確実性を伴うため、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,550,278	1,685,807	1,894,707	1,678,817	10,809,610
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,571,122	110,141	—	—	2,681,263
計	8,121,401	1,795,948	1,894,707	1,678,817	13,490,874
セグメント利益又は損失(△)	1,560,330	29,105	218,325	519,888	2,327,650

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,282,877	245,340	6,528,217	17,337,828
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28	28	2,681,291
計	6,282,877	245,368	6,528,245	20,019,120
セグメント利益又は損失(△)	△213,816	15,565	△198,250	2,129,399

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、エジプト
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾、ベトナム

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,129,399
セグメント間取引消去	△285,078
本社一般管理費(注)	△991,173
四半期連結損益計算書の営業利益	853,147

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,784,753	1,950,934	2,076,456	1,089,427	10,901,571
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,681,459	25,550	—	—	2,707,010
計	8,466,213	1,976,485	2,076,456	1,089,427	13,608,582
セグメント利益	2,118,393	165,043	138,570	282,331	2,704,338

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	7,043,062	232,686	7,275,748	18,177,320
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	2,707,035
計	7,043,062	232,710	7,275,773	20,884,355
セグメント利益	774,589	11,905	786,494	3,490,832

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、トルコ、スペイン、イギリス、ポーランド
- (3) アジア……………中国、台湾、シンガポール、オーストラリア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,490,832
セグメント間取引消去	△177,182
本社一般管理費（注）	△1,034,016
四半期連結損益計算書の営業利益	2,279,633

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,874,171	—	3,874,171
製パンライン等	4,151,788	—	4,151,788
修理その他	2,472,415	—	2,472,415
仕入商品	278,330	—	278,330
その他	32,906	—	32,906
食品等	—	6,528,217	6,528,217
顧客との契約から生じる収益	10,809,610	6,528,217	17,337,828
外部顧客への売上高	10,809,610	6,528,217	17,337,828

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,563,723	—	3,563,723
製パンライン等	4,101,892	—	4,101,892
修理その他	2,907,661	—	2,907,661
仕入商品	295,045	—	295,045
その他	33,250	—	33,250
食品等	—	7,275,748	7,275,748
顧客との契約から生じる収益	10,901,571	7,275,748	18,177,320
外部顧客への売上高	10,901,571	7,275,748	18,177,320

(重要な後発事象)

該当事項はありません。